

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第98号

H29. 7. 4

行事で生徒に感動と心の成長①

～ 6月を振り返って = 保小中合同運動会、命の日の授業・健全育成会講演会 = ～

3日の保小中合同運動会で始まった6月は、18日(日)「豊橋・学校いのちの日」の命の重みを考える道徳の授業と健全育成会講演会、21日(水)の名古屋フィルハーモニー演奏の鑑賞、前期中間テストなど、全校で取り組むさまざまな行事がありました。

■運動会では、最高学年の3年生が応援合戦で振り付けや小学生への教え方を考えたり、さまざまな種目の実行委員としてリーダーシップをとったりしました。応援合戦のダンスも白組のまとまりと紅組の勝利への必死さに、これまでの練習での努力や仲間の成長を感じました。中学生種目では、少し照れながらも男女で手をつなぎ伝統を受け継いで踊ったフォークダンス、ここまでの練習のドラマを乗り越え、学級の皆で団結して跳んだ長縄。一人一人が力を振り絞って走りバトンをつないだ全員リレー。生徒会役員が競技を考案し、手作りグッズをバトンにした「僕らの食料」。…すべての競技で前芝学校の上級学校の生徒として一生懸命に取り組み、仲間とかかわる中で成長する姿を見せました。器具や放送、得点係で運動会を支えた生徒の縁の下の力も立派でした。

「校長室の窓から(97)号」でご案内しましたが、今年は、昨年度、前芝学校が開校したことを機に保小中で作った『前芝体操』を披露しました。生徒たちは園児・児童・生徒441名で一斉に行ったブリッジや倒立で拍手をいただき、充足感を得たようです。温かなご声援をありがとうございました。



■豊橋市では、7年前に市内中学校の1年生女子生徒が野外活動中に命を失ったことを忘れず、市内小中学校の児童生徒、教職員が命の尊さを考える日にと、6月18日を「豊橋・学校いのちの日」としています。前芝中学校では、今年度は18日(日)に、全学級で命の重みを考える道徳授業を公開しました。「1リットルの涙」を題材にした2年2組では、「難病になってもがんばって生きようとしたあやさんに感動した」「みんなで意見を出し合っていると、“生きていることは、それだけで恵まれているんだなあ”と感じた」などの感想がありました。

今年度は日曜日の開催ということで、お父さんのご参加も多く見られました。多くの保護者の方がご参観くださり、ありがとうございました。

前芝校区健全育成会 講演会

授業参観に引き続いて、体育館で行われました。一昨年度までこの会で行ってきた前年度の事業や会計報告、今年度の予算・事業案は、事前に5月25日の健全育成会委員・役員会で協議しました。18日は、その中心の事業である講演会でした。講師の永山友美子先生のお話には、参加された保護者の方より「子育てでの自分の思いをあらためて振り返り、“そう、そう”と、納得するところばかりでした。楽しいお話で、聴けて本当に良かった」とのお声をいただきました。



♪ 永山友美子氏 の講演より ♪

- ・子どもの夢はお母さんの夢ではない。自分の夢をもち、自分の夢は自分で叶える。
- ・たくさんほめて、拍手をする。“いつもありがとう、感謝しているよ”と声に出して。今は、より直接的に表現しないと伝わりにくい世の中。
- ・子どもはだれかに認めてもらいたいと思っている。
- ・常にお子様と真剣に向き合って。褒める時も、叱るときも。
- ・「三つ子の魂百まで」は、学力をつけることじゃない。情緒や感情を育てること。日常のあたりまえの積み重ねを。 いっぱい抱きしめて！たくさん話をしてあげて！
- ・中学生の我が子に、照れくさいでしょうが「愛しているよ」と言ってほしい。
「僕はここにいていいんだな」って思ってくれる。10年経ってからでは遅い。最後は親しか守れない。
- ・あたりまえの感情表現がやりにくくなっている時代。“ちゃんと泣いていますか？” “ちゃんと笑っていますか？” おかあさんも。
- ・大好きな人ともずっと一緒にいられるわけではない。今を大切に。命を大切に。

=アイリッシュハーブで演奏した曲=

「グリーンスリーブス」「埴生の宿」「つりがね草」「6月の曲メドレー」など

中日新聞 (6/4 掲載)

自作・前芝体操に拍手

前芝学校、運動会で初披露

豊橋市の小中一貫校、前芝学校で三日、隣接する保育園との保小

中合同運動会があり、一年がかりでつくり上げた自校体操「前芝体操」を初披露した。

前芝学校は昨年度、市内初の小中一貫校として開校。保育園児から中学生が一緒に参加できる前芝体操は、統合を機に考案した。屈伸や伸脚のほか、身体

能力に合わせて背面倒立や補助倒立が組み込まれており、約三分間のお披露目が終わると保護者らから大きな拍手が湧き起った。競技でも一貫校の特色を生かし、障害物競走では中学生が下級生の手をとってジャンプの補助をするなど、各学年が紅白に分かれて二十二種目を競った。生徒会長の山内優実さん(巴)は「体操は緊張したけど拍手をもらえてうれしかった。今後も引き継いでいってほしい」と話した。(五十幡将之)



初披露された前芝体操＝豊橋市前芝町の前芝学校で